

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 15 日作成)

| | | |
|------------------------------|---|--------------------------------|
| 小委員会名 | 公共施設マネジメント小委員会 | 主 査 名：清水裕之 就任年月：2008 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 建築計画本委員会(設計計画運営委員会) | 委員長名：布野修司 主 査 名：宇野 求 |
| 設 置 期 間 | 2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き) | <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化社会における公共施設マネジメント研究の体系化とビジョン提示による社会貢献 ・建築計画で蓄積された知見の少子高齢化社会における公共施設マネジメントへの反映 ・少子高齢化社会における自治体の持続的な公共施設マネジメントシステムのあり方 | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | 委員公募の有無：有り 清水裕之(名古屋大学) 池添昌幸(福岡大学) 鈴木毅(大阪大学大学院) 横山俊祐(大阪市立大学) 柳沢要(千葉大学) 小林秀樹(千葉大学) 南一誠(芝浦工業大学) 小野田泰明(東北大学) 山下哲郎(工学院大学) 生田京子(名古屋大学) 大島秀明(福山大学) 石原智也(NTTファシリティーズ) 西野達也(広島大学) 伊丹康二(大阪大学) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | | |
| 2008 年度予算 | 195,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無 |

| 項 目 | 自己評価 |
|--------------------------------|---|
| 委員会開催数 | 4 回(年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | 1. 日本における近代建築の原点- 吉田鉄郎の作品を通して 参加者数 146 名 (資料名) 同上 2. 自治体による公共施設マネジメントに関する先進的取組み 参加者数 97 名 (資料名) 同上 3. 公共マネジメントのための統合ソフトの開発と活用現状について 参加者数 36 名 |
| 大会研究集会 | 1. (名称) 公共建築の再構成と更新のための計画技術 参加者数 120 名 (資料名) 同上 |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 体系化のためのシンポジウムの連続開催とその公開で社会貢献を果たした。 2. 研究論文等の収集を図り、次年度に成果を報告する予定。 3. シンポジウムの開催で手がかりを構築 |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. 遠方の委員に対する旅費が厳しい。 2. 3. |

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。